

トピック 05 防災研修会を開催しました！

自然災害が頻発する昨今、久利・大屋地区では災害時・緊急時の体制を整えようと様々な取り組みを行っています。その一環として、令和5年2月19日(日)に久利まちづくりセンターで防災研修会を開催し、両地区から49名の住民参加がありました。

今後も定期的に研修会を開催するとともに、避難体制の整備など、具体的な防災対策の検討を進めていきます。

家庭でできる防災

- ◆ いざという時の家族との連絡方法の確認
- ◆ 備蓄、持ち出し品の確認
- ◆ 避難をどうするか確認

地域でできる防災

- ◆ 地域での声掛け・あいさつ
- ◆ 防災計画の作成
- ◆ 訓練や研修会の開催



トピック 06 手ごし隊・おたすけ隊 隊員募集中！

久利地区では「手ごし隊」、大屋地区では「おたすけ隊」というボランティアグループを形成し、草刈りを中心に高齢者の生活支援を行っています。今年度は手ごし隊に78件、おたすけ隊に24件の依頼がありました。(令和5年2月末現在)

現在、手ごし隊には15名、おたすけ隊には31名が隊員として登録されていますが、今後も活動を継続していくためには、皆さまの力が必要です。地域の困りごとを一緒に手助けしませんか？



お願い

今後も久利・大屋地区では、皆様のご意見をお伺いしながらまちづくりを進めてまいります。私どもの活動に少しでも関心をもってください、今後もお力をお貸しいただけると喜びます。



問い合わせ先 久利・大屋地区小さな拠点推進協議会

久利まちづくりセンター ☎82-5572 大屋まちづくりセンター ☎82-5580

久利・大屋地区 小さな拠点推進協議会だより



令和5年3月
3号

特集 | 令和4年度 活動報告

小さな拠点づくりとは？

小さな拠点づくりとは、地域で暮らし続けるための、住民主体による新たな仕組みづくりのことです。久利・大屋地区は、島根県の「小さな拠点づくりモデル地区推進事業」に選ばれており、交通や買い物等の共通する課題を、より効率的・効果的な手法で解決するため2地区が連携して取り組みを進めています。

トピック 01 移動手段の確保に取り組んでいます！

久利・大屋地区が共同で運行している「デマンド型自治会輸送」がTSKさんいん中央テレビの「実践！小さな拠点づくり」で紹介されました！

Q. 自治会輸送ってなんですか？

バスやタクシーなどの公共交通機関による輸送サービスの提供が難しく、地域の交通が確保されていない場合に、地域住民が白ナンバーの車両(自家用自動車)を用いて行うボランティア輸送のことです。

自治会輸送は久利地区で先行して実施されてきましたが、令和3年4月からは両地区が共同で取り組んでいます。共同運行によって、大屋地区では路線バスに代わる移動手段の確保が可能になり、久利地区では運行エリアの拡大によって利便性が向上しました。

週4日、予約制で、75歳以上の高齢者、障がい者、車がないなどの一定の条件を満たす方を対象に、自宅から市内の中心部までの送迎を行っています。

より効率的で、持続可能な運行とするために、これまでの取り組みを踏まえて運営について協議を進めています。



買い物にしても、眼科医院にしても、銀行にしても、いつも使わせてもらっています



助かります 大助かりです



2月22日に放送された内容はYouTubeでもご覧いただけます！

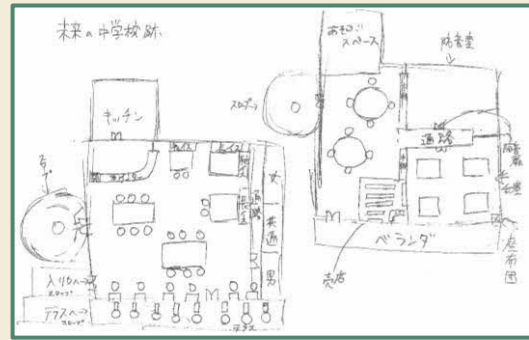
<https://youtu.be/I9rrcRp5srE?t=217>

トピック 02 理想的な地域の実現に向けて

令和4年10月に親子ワークショップを、11月に両地区で住民ワークショップを開催し、住民の皆さまから地区の未来に関する様々な意見やアイデアをいただきました。

来年度はいただいた意見をもとに、施策や事業、実施内容の検討を進めていきます。

親子ワークショップ 令和4年10月22日(土) 参加者16名



▲久屋小学校の5・6年生が久利中学校跡地の活用方法についてアイデアを発表してくれました！



★地域の良いところ、イマイチなところ
★地域に必要なもの、欲しいもの
についてアイデアを出し合いました！



大屋地区住民ワークショップ

令和4年11月13日(日) 参加者23名



未来を考える井戸端会議

令和4年12月4日(日) 参加者11名



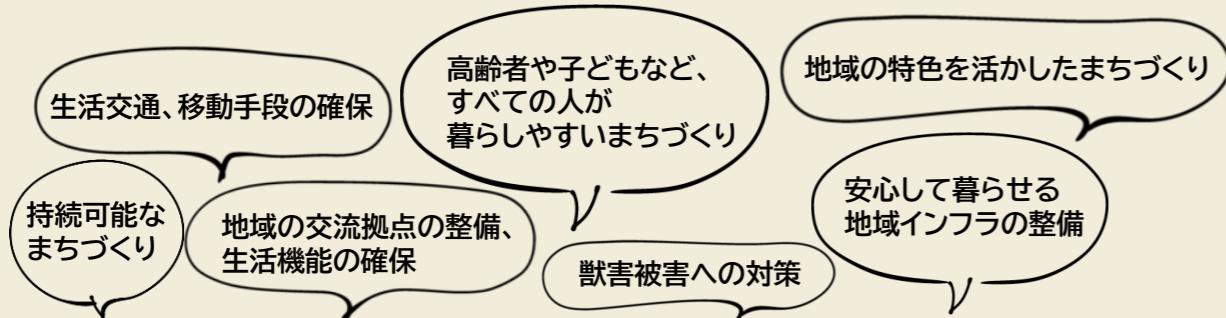
★5年、10年後の理想的な地域
★理想的な地域のために考えたいこと、
チャレンジしたいこと
についてアイデアを出し合いました！

久利地区住民ワークショップ

令和4年11月27日(日) 参加者50名



ワークショップと令和3年度に実施した住民アンケート調査でいただいた意見をもとに、久利・大屋地区が抱える7つの主要課題を抽出しました。



課題の解決、理想的な地域の実現に向けて、動きを加速させていきます！

トピック 03 鳥獣害対策を推進しています！

サルやイノシシによる鳥獣被害が深刻化しています。鳥獣害対策で重要なことは、継続した取り組みです。昨年度に引き続き、安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて講習会・研修会を開催しました。

今後は施策・事業案と併せて、具体的な実施内容の検討を行っていく予定です。

追い払い花火講習会 令和4年6月26日(日) 参加者57名

サルには、多人数での徹底的な追い払いが有効とされています。地域全体で取り組むことで被害を最小限にいきましょう。

鳥獣害対策研修会 令和4年10月25日(火) 参加者34名

サルは学習能力と運動能力が高い動物です。地域内で合意形成を図り、一緒に実行すること・継続して取り組むことが重要だと改めて認識しました。

集落で協力し、
移動しながら追い払うことが重要

参加者の声

果実の放置はサルの餌になる、
摘み取る・伐採などの対策が必要



トピック 04 高齢者見守りキットを設置しました！

85歳以上の一人暮らし世帯に、緊急通報・通話が可能な機材を設置しました。大屋地区では対象となる9軒への設置が完了し、久利地区でも10軒の設置を予定しています。

設置当初は誤操作や人感センサーの初期不良等がありましたが、現在は大きなトラブルもなく活用されています。高齢者の方々や、親族の方からは嬉しい言葉をいただくことができました。



高齢者見守りキットって？

「非常」ボタンを押すと登録した連絡先に電話が繋がる緊急通報装置です。付属のペンダントを持ち歩くことで親機から離れた場所(50m程度)からでも通報することができます。

トイレなどの毎日使う場所に取り付けたセンサーが、一定時間人の動きを感知しなかった場合に異常通報を行う見守り機能も搭載されています。

親族の声

もしもの時にも、早く駆けつけることができるため安心感がある

有事の際の備えとして
緊急時の連絡先を4か所設定した
安心して生活できる

高齢者の声

自宅内や自宅付近を行動するときは、
付属のペンダントを身に付けておきたい